



# 油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

令和6年4月10日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

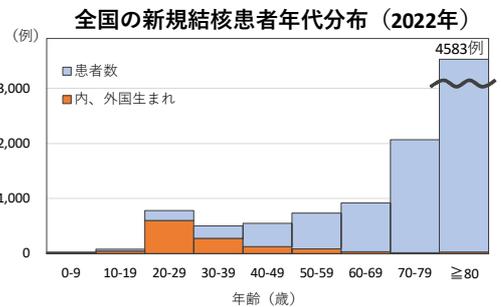
(令和6年第14週分・4月1日～4月7日)

### 《インフォメーション》

#### ●結核

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、全国で1万例を超える新規結核患者が毎年報告されています(上図)。また、毎年1,500人以上が亡くなっています。全国の新規患者数は減少傾向が続いていますが、欧米諸国と比べまだ高い状況です。富山県では、2022年に65例の新規患者が報告されました。2023年には、感染症発生動向調査の速報値で77例の患者報告があり、減少傾向は足踏み状態です。また、2024年は第14週までに15例の結核患者が報告されています。患者の年代分布では80歳以上が45%を占め、高齢者に多い状況です(下図)。また、20～30歳代の患者では外国生まれの方が多い特徴があります。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。結核を発病して排菌している人の咳などによって、結核菌を含んだ飛沫が周囲に飛散し、その周りの水分が蒸発した状態(飛沫核)で空气中に漂います。感染は人が結核菌を吸い込むことで起こります。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。一方、感染者の1～2割は発病し、その多くは感染後6ヵ月～2年までに発病するとされています。また、加齢などにより免疫力が低下することで発病する場合があります。結核は、発病しても早期発見、治療により治る病気です。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまうことがあります。咳、痰、微熱や倦怠感などの症状が2週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大切です。また、乳幼児の場合、抵抗力が弱く、感染すると重症化する可能性が高いです。このため、乳幼児は定期接種対象年齢(推奨時期：生後5～8ヵ月未満)にBCGワクチンを必ず受けましょう。



出典：結核登録者情報調査年報集計結果について(厚労省)

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件 (90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (40歳代、女性、O型不明、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (50歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (30歳代、男性)
- 播種性クリプトコックス症 1件 (50歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	9.29 (↓)	11.21
2位	インフルエンザ	8.21 (↓)	21.54
3位	COVID-19	5.09 (↓)	5.35
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.50 (↓)	5.38
5位	咽頭結膜熱	1.36 (↓)	2.21
6位	RSウイルス感染症	0.29 (↑)	0.14

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第14週 令和6年4月1日～令和6年4月7日）

分類	疾患	今週報告分（第14週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核					1	1	5	2	9	2	14	32
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	2	2	3	1	7	15
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1			1		2	3
	四類感染症	レジオネラ症					1	1		1	5	1	8	15
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									1		2	3
		急性脳炎									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	4	8
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	1		1		3	5
		水痘（入院例）								1				1
		梅毒									1	1	1	3
播種性クリプトコックス症					1	1					1	1		
インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ	33	24	120	48	161	386	1,043	1,016	3,892	1,400	4,944	12,295	
	COVID-19	4.71	4.80	9.23	6.86	10.73	8.21	909	611	1,855	932	1,730	6,037	
小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	62	20	58	51	48	239	8	3	6		41	58	
		8.86	4.00	4.46	7.29	3.20	5.09							
	咽頭結膜熱	2				6	8	46	94	400	15	453	1,008	
		0.67				0.67	0.29							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	18	1	12	38	86	110	1,472	167	677	2,512		
		2.33	2.25	0.25	1.33	1.36								
	感染性胃腸炎	6	6	84	11	19	126	345	386	802	433	1,625	3,591	
		1.50	2.00	10.50	2.75	2.11	4.50							
	水痘	30	28	80	35	87	260	1	4	26	8	26	65	
		7.50	9.33	10.00	8.75	9.67	9.29							
	手足口病	4				1	5	6	1	21		11	39	
		0.25				0.11	0.18							
	伝染性紅斑	1				1	2			2	1		3	
		0.25				0.11	0.07							
突発性発しん			1	1	2	4	3	7	30	10	18	68		
			0.13	0.25	0.22	0.14								
ヘルパンギーナ	4					4	38			1	1	40		
	1.00					0.14								
流行性耳下腺炎									2	2	1	5		
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										1		1	
	流行性角結膜炎		1				1	7	1	8	3	6	25	
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎		1.00				0.14							
					1		1				3		3	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）					3	3	20	10	30	44	68	172	
	COVID-19による入院患者	4	3	3	3	10	23	58	83	55	81	230	507	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

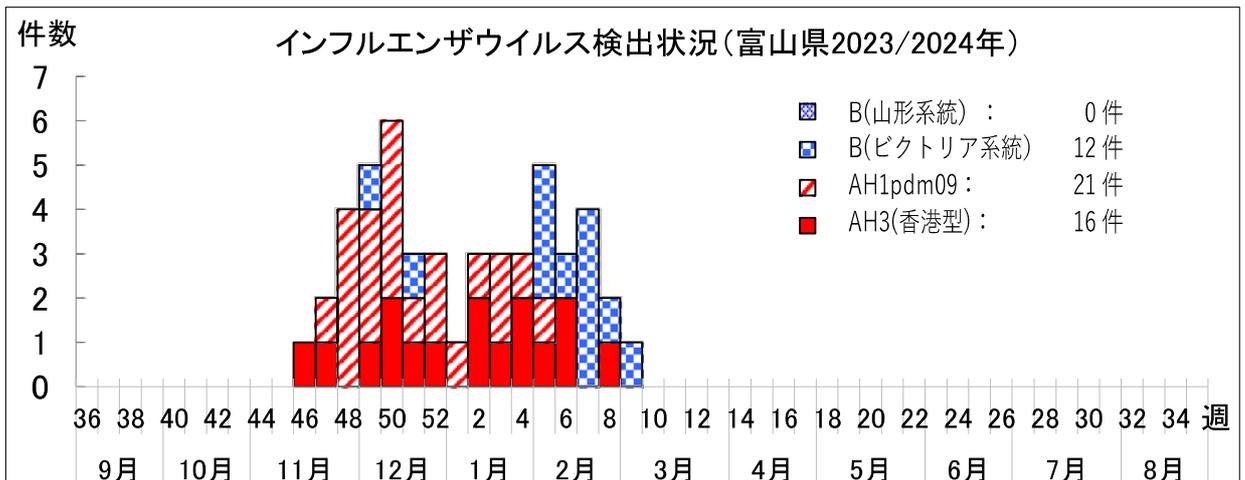
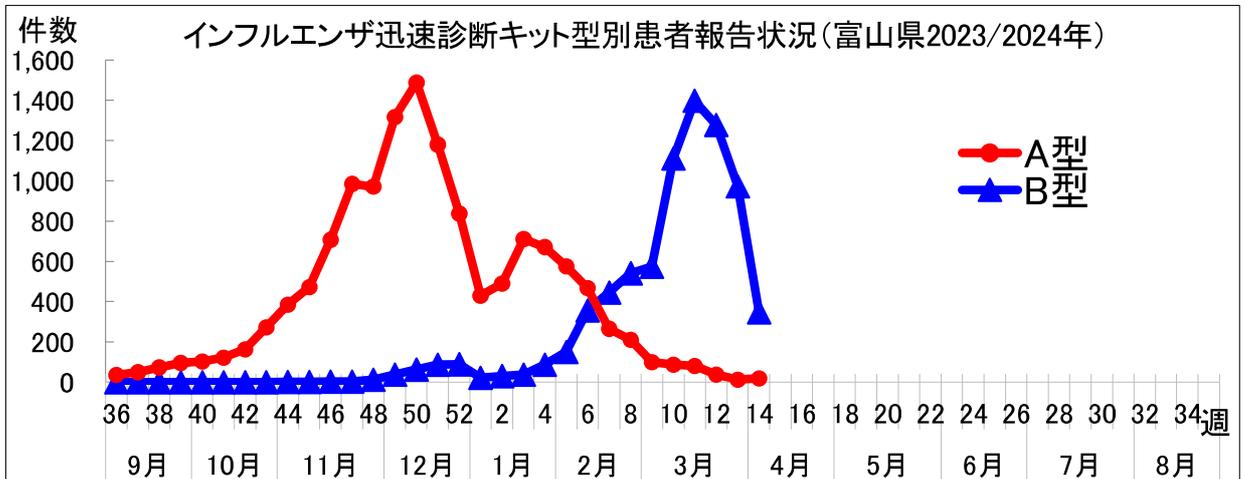
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、B型が90.2%となっています。

### 第14週(4/1~4/7)：富山県 8.21人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	2	31	0	33
中部	4 / 5	0	21	3	24
高岡	12 / 13	6	107	7	120
砺波	6 / 7	2	45	1	48
富山市	14 / 15	8	144	9	161
富山県	41 / 47 <sup>※1</sup>	18	348	20	386
富山県累計(2023年36週~)		13,414	7,653	1,337	22,404

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が41か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





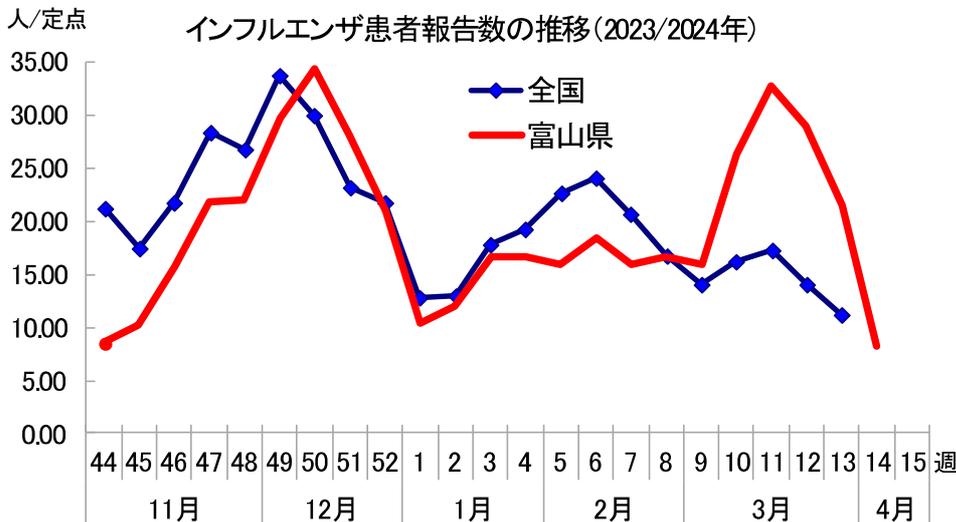
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第14週 (4/1~4/7) : 富山県 8.21人/定点

新川 HC (4.71)、中部 HC (4.80)、高岡 HC (9.23)、砺波 HC (6.86)、富山市 HC (10.73)

全国の患者報告数は、第13週に11.18人/定点となり、前週から減少しました。

県内の患者報告数は、今週8.21人/定点となり、前週と比較して減少しました。

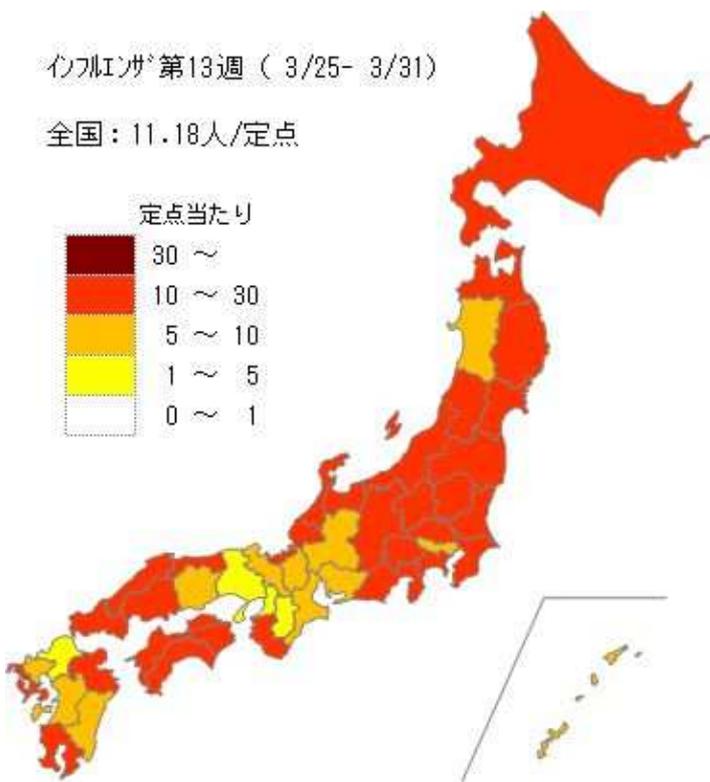


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第13週 (3/25~3/31)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり11.18人となり、前週の14.08人より減少しました。4県で前週より増加しています。43都道府県で前週より減少しています。

インフル第13週 (3/25- 3/31)

全国: 11.18人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	15.17 ↓	滋賀県	9.32 ↓
青森県	11.29 ↓	京都府	5.15 ↓
岩手県	13.31 ↓	大阪府	4.08 ↓
宮城県	13.68 ↓	兵庫県	4.80 ↓
秋田県	9.76 ↓	奈良県	3.98 ↓
山形県	15.77 ↓	和歌山県	11.36 ↑
福島県	17.76 ↓	鳥取県	16.48 ↑
茨城県	14.51 ↓	島根県	11.63 ↓
栃木県	15.11 ↓	岡山県	6.07 ↓
群馬県	20.54 ↓	広島県	11.19 ↓
埼玉県	14.18 ↓	山口県	12.51 ↓
千葉県	14.28 ↓	徳島県	10.70 ↓
東京都	9.40 ↓	香川県	13.00 ↓
神奈川県	10.22 ↓	愛媛県	25.80 ↑
新潟県	24.12 ↓	高知県	15.84 ↓
富山県	21.54 ↓	福岡県	4.88 ↓
石川県	15.81 ↓	佐賀県	8.38 ↓
福井県	14.82 ↓	長崎県	11.54 ↓
山梨県	14.56 ↑	熊本県	9.08 ↓
長野県	13.16 ↓	大分県	11.90 ↓
岐阜県	9.00 ↓	宮崎県	9.45 ↓
静岡県	12.15 ↓	鹿児島県	11.88 ↓
愛知県	8.77 ↓	沖縄県	8.57 ↓
三重県	9.07 ↓	<b>全国</b>	<b>11.18 ↓</b>